

於 二宮町教育委員会事務局

平成25年7月26日

## 二宮町教育委員会会議録

(定例会・臨時会)

二宮町教育委員会

1. 開会時間                    10時        30分
2. 閉会時間                    12時        00分
3. 委員長名                    飯塚        富美
4. 署名委員
5. 出席委員

議席番号	出欠席	氏名
1	○	飯塚 富美
2	○	小林 徳博
3	○	井出 真理子
4	○	蓮 實 茂 夫
5	○	内海 博 治

6. 出席者氏名                    教育次長     石井博司  
    参事兼生涯学習課長     宮川康廣  
    教育総務課長     黒石徳子  
    教育総務課指導班主幹     北川慶太  
    教育総務課教育総務班長     竹本直昭  
    教育総務課教育総務班主事     関田智恵子
7. 傍聴者                        なし
8. 調製者                         教育総務課教育総務班主事     関田智恵子

## 平成25年度7月教育委員会定例会会議録

日時：平成25年7月26日（金）

午前10時30分より

場所：二宮町町民センター2Aクラブ室

### — 開会宣言 —

（委員長）平成25年度7月定例教育委員会議を開催します。

### — 署名委員の指名 —

井出委員を指名する。

### — 教育長事務報告 —

（教育長）7月事務報告を行う。

（教育次長）7月政策会議報告を行う。

（各課長）各課の事業報告・事業予定について説明する。

- （井出委員）中学校の2学期の始業日が8月28日というのはなぜですか。
- （教育長）二宮町立小学校及び中学校の管理運営に関する規則において、夏季休業は7月21日から8月31日までとするが、校長は教育上必要があると認めるときは、あらかじめ教育長の許可を得て休業日の期間を変更することが出来るとされております。この規則に基づき、学校から新学習指導要領に伴う授業日数確保のための夏季休業期間変更の申請があり、それを許可したため始業日が変更となりました。
- （井出委員）夏季休業中の登校日はありますか。
- （教育総務課指導班主幹）登校日はございません。
- （小林委員）県市町村教育長会議幹事会では次年度の予算要望についての話し合いが行われたとのことですが、少人数学級の推進についてや正規教職員が少なく臨時任用教職員が多いことについての情報交換・意見交換等が行われたのですか。
- （教育長）今回の幹事会では要望書の内容確認を行いました。少人数学級の推進等については総会で話題になるかと思えます。
- （小林委員）臨時任用職員が非常に多いという現状については、どこかで改善していく必要があると思いますので、このような場で教育長より改善についての声を挙げていただければと思います。
- （井出委員）こちらの件については先月も話題となっており、働き掛けをしていくことが大事かと思えますので、よろしくお願ひします。教育総務課の事業予定にある、幼稚園・保育園・小学校研修会と教育講演会の内容について教えてください。

- （教育総務課指導班主幹）幼稚園・保育園・小学校研修会では、秦野市の小学校や幼稚園に勤務されていた先生方を講師に招き、幼稚園・保育園と小学校との交流会の先進事例についてのお話を伺います。現在、幼稚園・保育園・小学校の連携により、新就学児童が生活・学習面等でいかに円滑に小学校生活を送ることが出来るようになるかを検討し、交流会等を実施していますが、学校を訪問する園児にとっても、訪問を受け入れる児童にとっても育ちの一環として意味のあるものとなるにはどのように考えたら良いのかをテーマに、秦野市での取り組み状況を伺い、それを踏まえて二宮町ではどのように取り組むと良いのかを考えるという研修会を行います。また、教育講演会は、今年度は大磯町が事務局となりますが、NPO法人 ハートフルコミュニケーションの方々を講師にお招きし、対話により対象者が自分で解決の道を見出すことが出来るよう導くコーチングということをテーマに、日頃子どもたちと接する教職員に対して、子どもたちが自分で考えて行動することが出来るようになるにはどのように接したら良いのかを考えていただくような講演を行っていただきます。
- （井出委員）教職員と子どもの関係をコーチングという言葉で考えてみるということでしょうか。
- （教育総務課指導班主幹）教職員と子どもだけでなく、大人同士の関係においても役に立つような内容かと思います。
- （小林委員）メンタルヘルス講演会は、自分の心をもう一度見つめ直せる機会として大事なものですので、研修としてきちんと位置付けていく必要があると感じています。現在メンタル面で課題のある教職員はいますか。
- （教育総務課長）現時点で、メンタル面を理由に休職している教職員はおりません。
- （小林委員）予防にもつながるものかと思いますので、よろしく願います。
- （蓮實委員）本日生涯学習センターで教職員を対象とした講演会が行われていましたが、そちらも夏季休業期間中の研修のひとつとして開催されているのですか。
- （教育総務課指導班主幹）夏季休業期間中に教職員を対象とした講演会や研修会がいくつか開催されますが、実施主体がそれぞれ異なり、本日開催されているものは中郡小学校教育研究会主催の講演会となります。コーチングをテーマとした教育講演会は教育委員会主催の講演会です。
- （蓮實委員）子どもたちを地域の活動に積極的に参加させるということで、8月の防災訓練に中学生が参加するとのことですが、中学生が参加するということは地域の方には伝わっているのでしょうか。参加したけれど何をしたら良いのか分からなかったということにならないよう、受け入れ体制を整えるように地域や担当課と連携は図られているのでしょうか。
- （教育長）以前中学生や教職員が参加した際に何をしたら良いのか分からなくて困り、地域において役割分担を決めていただきたいという要望をさせていただいたことがありますので、今回は受け入れ体制を整えていただけるのではないかと思います。先日の打ち合わせでは、中学生には救助活動の手伝いをお願いする予定で、詳細については地区の方が考えるとのことでした。
- （蓮實委員）せっかくの機会ですので、中学生の役割について整理していただくよう担当課へ呼び掛けをお願いします。
- （教育長）教育委員会議で要望があったことを担当課に伝えます。
- （委員長）よろしく願います。

- （小林委員）東日本大震災の際には現実的に中学生が救助で活躍する場面もありました。中学生の役割分担を地区で考えるということは難しいと思うので、担当課にて調整いただくようお願いいたします。場面を想定して役割分担をすることは難しいと思いますが、手探りでもひとつひとつ積み重ねていただけたらと思います。
- （蓮實委員）教職員健康診断が行われたとのことですが、受診率はどのくらいですか。
- （教育総務課長）教職員健康診断は二宮町と大磯町が合同で行っておりますが、8月に大磯町で行われる健康診断や人間ドックの受診者を合わせると100パーセント受診の見込みです。
- （井出委員）生涯学習課事業報告にある青少年問題協議会で話し合われた内容について教えてください。また、子ども野外研修について研修を終えての率直な感想を教えてください。
- （参事兼生涯学習課長）青少年問題協議会では、大磯警察署長より、自転車の盗難事件が増加しているという報告や警察官が親身に接したことにより青年が非行から立ち直った事例が紹介されました。また、二宮高校校長からは自転車の乗り方のマナーに関する話、青少年環境浄化推進委員からは近年は非行の場面を実際に見かけて指導することはあまりなくなってきたという話がありました。時代が変わり子どもたちの遊び場が変わってきていますが、気付いた大人が声を掛けて、してはならないことだと子どもたちに気付かせてあげる必要があると感じています。
- （教育次長）子ども野外研修については、参加児童135名で12班編成となりました。当日は多くの小学校教諭に参加いただき、行き届いた指導を行ってくださったので、大人も子どもたちも落ち着いており、大きな怪我もなく無事に終了することが出来ました。
- （井出委員）不慮の事故が起こった場合の責任の所在はどちらになりますか。
- （参事兼生涯学習課長）現場責任者はおりますが、教育委員会主催の事業ですので、最終的な責任者は教育委員会となります。なお、子ども野外研修実行委員会の委員長は教育長です。
- （井出委員）特色ある行事ですので、今後の反省を踏まえ検討が進んでいくことを願っています。
- （小林委員）参加された小学校教諭に話を伺ったところ、楽しんで参加されたとのことでした。また、どのような立場で参加されたのかと伺ったところ、年休を使ってボランティアとして参加されたということでした。新任教諭を研修のために参加させている学校が多いようで、それも良いことだと感じました。他の参加者からも、小学校教諭の方々は指導が上手で、運営側と協力しながら大変良くやっていたという話を伺いました。協力して実施していくことが必要ですので、そのようなことも踏まえながら今後のより良い実施につなげていけたら良いのではないかと思います。
- （井出委員）教育委員会の主催する事業ですが、年休という扱いでの参加になるのですか。
- （教育長）以前は出張という扱いで参加いただいていましたが、県より学校行事としては認められないため出張という扱いには出来ないとの話があり、仕方なく年休で参加しボランティア保険に加入していただくということで対応している状況です。
- （蓮實委員）135名の参加児童のうち子ども会に加入していない児童は何名程いましたか。
- （参事兼生涯学習課長）子ども会未加入児童は10名以下です。なお、今回の参加率は対象児童の51パーセントでした。
- （小林委員）3つの小学校の児童が一緒に活動できるということは二宮ならではの良さだと思います。ここで築いた絆が良い方向に進むと思いますので、大切にしていきたいと思っています。

○（委員長）一緒に活動した別の小学校の子どもたちとの中学校での再会も待っていますので、大切にしていきたいと思います。

— 付議事項 —

議案第 3 号 平成 26 年度小学校使用教科用図書採択について

（教育総務課長）平成 26 年度小学校使用教科用図書採択について説明。

（委員長）各委員に、議案第 3 号について諮る。

委員全員賛成により、議案は承認される。

議案第 4 号 平成 26 年度中学校使用教科用図書採択について

（教育総務課長）平成 26 年度中学校使用教科用図書採択について説明。

（委員長）各委員に、議案第 4 号について諮る。

委員全員賛成により、議案は承認される。

議案第 5 号 平成 26 年度小・中学校使用学校教育法附則第 9 条による教科用図書採択について

（教育総務課長）平成 26 年度小・中学校使用学校教育法附則第 9 条による教科用図書採択について説明。

○（小林委員）今後の教科用図書需要の手続きについて教えてください。また、平成 26 年度に学校教育法附則第 9 条による教科用図書の使用を希望されている方がいるのか教えてください。

○（教育総務課教育総務班長）手続きについてですが、8 月中に各校から報告される需要数を県に報告することとなっています。

○（教育総務課指導班主幹）平成 26 年度の学校教育法附則第 9 条による教科用図書の使用については、現在のところ 1 件希望があると伺っています。教職員が教科用図書の制度をきちんと理解し、その子どもに合った教科用図書として、実際に手にとって判断したうえで使用を希望しているとのことです。

○（小林委員）教職員が制度を理解して、その子どもに合った教科用図書を使用できるようにすることは非常に良いことだと思います。なお、その際には保護者の理解も必要になるかと思しますので、十分調整してください。今回の件を機に、しっかりと教員に制度を伝えていただけたらと思います。

（委員長）各委員に、議案第 5 号について諮る。

委員全員賛成により、議案は承認される。

— 報告・協議事項—

- (1) 二宮町学校給食センター移築検討委員会設置要綱の廃止について
  - (2) 二宮町学校給食センター建設調査委員会設置要綱の廃止について
  - (3) 二宮町新学校給食センター建設委員会設置要綱の廃止について
- (教育総務課教育総務班長) (1) から (3) について報告。

(4) その他

(教育総務課長) 『二宮の教育』、『二宮町定住促進行動計画 (子育て編)』について報告。

— 次回教育委員会予定 —

(教育総務課教育総務班長) 次回教育委員会議の日程及び出席を要する主な行事について説明。

— 閉会宣言 —

(委員長) 平成25年度7月定例教育委員会議を終了いたします。

12時00分 終了